

江戸樂舎用

頭書  
繪入  
新板

道

旅行要集

童叢為学

中  
性  
來

完

西村



有富友

富さ久福ある人の  
習は一の奇物

あつものしと

友とて徳をく

換かれそのあり

伴のしとと学ば

則ちけと回どし

福ある人の教と学ば福人と成べ

諭み隣きび

花の枝に



有道友

道あり友とい學文

ある人乃來あり

友と志て益あり

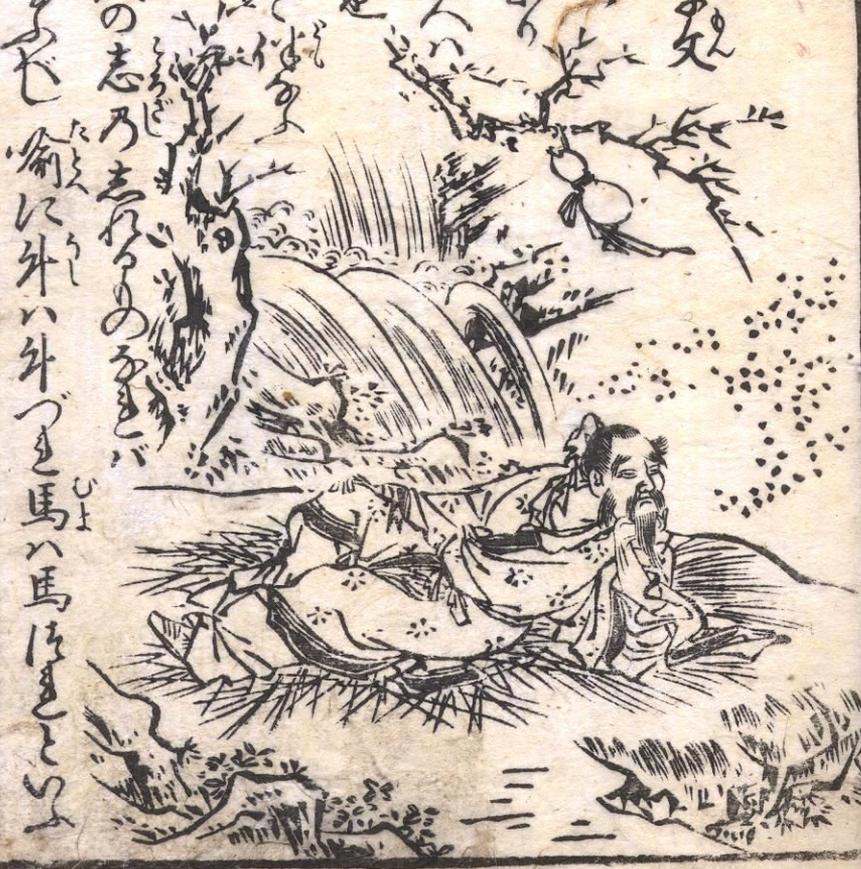
酒香と徳ある人の

習は酒のしと

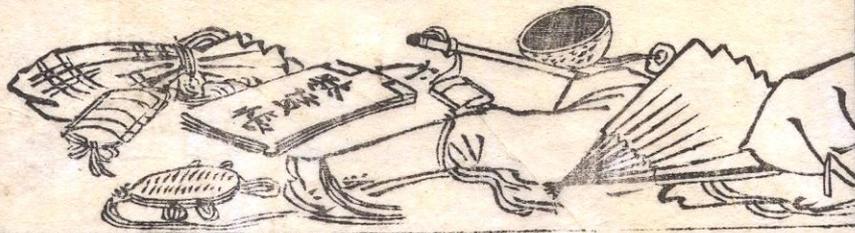
遊すもその人と

人へ遊好あり

友と志て其人の志乃志ねるのあり



友と撰むばあり諭以外外つ馬ハ馬は道とい



道中性来



凡藤立取扱文

字先以撰古月

令教是叔個為

不限男女老幼

為後並或を網代

竹筍又と塗並三

夜笠頂金並並

奴身拭扇子鼻紙

志可用品並並

諸御園所附

相換園 相川

相根

足柄

根部川

遠江園 遠川

新居

氣嘉

上野園 上川

碓氷

横川

実改

五科

大渡

河俣

壺之橋

信濃園 信川

紙入を麻平搥揚枝

耳搥小寸刀令根之

胆巻を柔布布酒

下海之飲お又平鉄を

氣付を煉薬或人参

血心版菜油薬巾着

を膏之平を懐密弄盤

同懐密弄腰提烟管筒

煙袋搥蛸同石火朱如

火燭松明挑灯籠付本

木骨  
勢内路  
福島  
浪合  
常川  
公川  
小野川  
近江  
梁瀬

山中  
武藏  
駒木野  
下総  
房川  
市川  
下野  
栗松  
桐模

既美紙合子  
馬宗  
貫新  
細  
包  
丸  
掛  
建  
竹  
球  
葉

苞小  
漢  
箱  
長  
利  
丸  
掛  
建  
竹  
球  
葉

西浦賀

以上草子所



御用所

湯りやう

表上中

一丁者

何回行

御用所

湯通

御用所

御用所

村木也 羽衣 栗 絹 綿 麻 布 絹 糸  
為 夫 夫 才 以 合 羽  
冬 道 出 羽 織 或 綿 袴  
之 拂 紫 筆 紋 之 江 被 胸

無 不 震 震 容 膈 尚 股  
引 脚 肘 甲 氣 腰 帶 三  
尺 子 掛 足 袋 赤 履 鞋  
夏 冬 之 靴 巾 衣 弁 衣 引  
襪 下 足 之 江 風 履 也

大工  
号  
月  
日

御  
園  
所  
清  
香  
齋  
字  
林



又  
是  
三  
日  
曉  
を  
小  
雲  
雨

と  
不  
所  
甚  
個  
室  
也  
乃  
朕  
指

之  
指  
雖  
の  
面  
を  
拘  
教  
素

後  
指  
を  
不  
拘  
屯  
車  
風

沈  
并  
簾  
用  
方  
之  
乃  
所

要  
死  
次  
拍  
袋  
籠  
也  
智

便  
行  
盡  
善  
也  
相  
後  
食

去  
生  
身  
一  
の  
也  
何  
然  
之

不  
知  
魚  
智  
野  
菜  
菓  
物

草  
之  
啗  
酒  
後  
櫻  
不  
飲

東  
海  
道  
五  
十  
三  
驛  
秋  
小  
休  
り  
て  
勢  
之  
車  
弁  
四  
首

戸  
と  
花  
平  
金  
全  
や

辰たつ 田た 糸いと 三さん  
 糸いと 糸いと 糸いと 糸いと  
 糸いと 糸いと 糸いと 糸いと



糸いと 糸いと 糸いと 糸いと  
 糸いと 糸いと 糸いと 糸いと  
 糸いと 糸いと 糸いと 糸いと

若食漢言傷水之愛  
 池瀉腹痛山嵐之瘴氣  
 風軟煩之不換金心  
 氣散奕之服用固為  
 固公之持靴中馬

人之貴固志誠為下  
 車自糸掛下式給貴月  
 徑凡貴月其物一挺  
 亦掛山嵐錢一挺西人  
 掛平如籠去人足之宛



見淡 こつり さままろ

舞 まい

新白 あの新 しろ

二下 ふたご

結五 むすぶ 五

赤 あか

舞士 まいし

園 うゑん

池程 ちりぢ  
新 あらた  
鳴海 なるうみ

荷物之難儀控重々

人妻同持之儀と云

潘合安之儀係成

寄参帰馬お刺借之

貸法士大概お有去

輕鹿之儀控鹿人

是之儀控鹿

之儀控鹿

寄参儀之御氣物

作見庭場揚卸儀



新  
大津  
七々

新  
業  
石  
乃  
水  
坂  
乃  
乃

還大乃坊不成  
送送乃諾復之  
乃遠乃乃心  
能成戲も私用  
白不乃仍其業  
友有亦社之怒  
船乃海場之水  
貨送乃城乃大  
相利然之復之  
及乃海乃相乃



二辰砂しんじょう

右張みぎのちりははみ

勝かちは七しち暖ぬる帯おび

老おきな去さあか

おしもよおしもよね

幸さいわいわらわらあり

血ちのの茶ちや

一いち紫むらさき藤ふじのの葉は

ツつゲゲガガレレセセ

おおおおいい血ちり

ててつつああちちり

べべーー又またしし血ち

ででららちちりりババカカ

れれ上かみににおおままえ

ははととああままりりて

わわささババととままり

半はんききめめららえ

不ふ換かん金ぎん

正せい氣き散さん

乃のがが

養よう本ほん 厚こう朴ぱく  
陳ちん皮ひ 杜と松しょう  
藿くわく香かう 甘かん厚こう  
蘇そ香かう 甘かん厚こう

時ときをを過あやすすまま切きのの後ごをを後ご

昔むかしのの物ものをを習まなぶぶ道みち法はふと

考こう者しや亨かうをを伯はく愷かいとと付つと

然しかるる本ほん姓せい名なをを虚こ言ごんをを書か

紀き乃の相あ若わ若わ時とき禎てん漳じやう子こ

戸と既い用よう公こう名な德とく使し不ふ

尺せき屣せき之の弊へい殊じゆ殊じゆ非ひ非ひ非ひ非ひ非ひ

去こ流りゅう瑞ずい在ざい地ち之の方かた角かくとと賞しょう

不ふ空くう輝き相あ行かう無む之の相あ様やう之の

恩おん拍ぱく花か女にょ許こ權けん惟い以い歌か津つ



右の秋と云  
 遍るを家  
 と申し候  
 災難  
 幸に家  
 多す少  
 必は幸  
 是日幸  
 神國和歌の  
 徳なり  
 神の標  
 心

不成就  
 成就

正月

三日十一日  
 十九廿七日

二月

二日十日  
 十八廿六日

三月

朔日九日  
 十七廿五日

其換紙改之為馬或  
 有將亦不怪我其  
 高城長保之用立出  
 必願海勿忘物重方  
 雖為稻藉者出念為

不之換紙  
 勝方其  
 物其  
 氣去換字也  
 志能換子金



儀

儀  
平  
儀

江戸  
樂舎  
古